



はちもり

校訓：海のように 波のように 岩のように

令和6年10月25日(金) 第26号 文責：安部 晃幸

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさを拓く子ども



学習発表会が迫ってきました!!

学習発表会まで1週間あまりとなりました。
本番に向け、各学年とも練習に熱が入っています。今週は学習発表会に向けた取組の様子を紹介します。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

11月の主な行事



- 3日(日) 学習発表会 文化の日
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 振替休業日(学習発表会)
- 6日(水) 5年漁港見学(峰浜小と合同学習)
- 7日(木) 避難訓練(火災)
- 8日(金) 児童集会
- 12日(火) かもめ読み聞かせ
- 13日(水) 2年校外学習(能代図書館、能代駅、電車乗車体験)

- 13日(水) 学力アップタイムⅠ(4~6年)
- 14日(木) 1年なかよし交流会(年長児来校)
- 15日(金) 6年そば打ち体験
- 18日(月) 学習強調習慣(~22日)、ヘルハピ(~22日)
- 20日(水) 学力アップタイムⅡ(4~6年)
- 21日(木) 3年八峰消防署見学
- 22日(金) 集金日
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 26日(火) ICT事業授業研究協議会
- 27日(水) 活動委員会
- 28日(木) 1年さつまいもクッキング
- 学力アップタイムⅢ(4~6年)

3年 社会科見学 10月24日(木)

能代市のいとか能代北店を訪問しました。普段は入ることのできないお店の裏側を見せていただき、スーパーマーケットには様々な仕事があることを理解することができました。

また、働く側の立場でお店を見ることで、商品を買ってもらうための様々な工夫も知ることができたようです。

見学後は買い物体験をしました。計画していた品物を買うことができ、とても満足していました。貴重な体験となりました。受け入れてくださった関係者の皆様方に感謝します。



今週の1枚

毎日、当たり前のように給食をいただいているが、子どもたちの給食の準備に大変さを感じています。調理員の方々に感謝します。

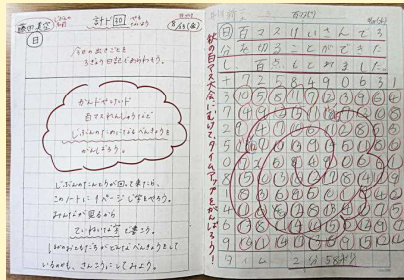


真似るは「学ぶ」

表紙に、「つながる みんなの にじいろノート」と書かれたノート。これは2年生が現在、取り組んでいるリレー形式の自学ノートです。

上段には三行日記、下段には勉強と、取組の型が決まっています。

お互いの取組が見られるので、友達のよいところを真似ることができます。自学の充実につながります。



左ページに学級担任が書き方を示しています

かもめ読み聞かせ

10月22日(火)、「おはなしの会かもめ」の読み聞かせがありました。

5年生は、畠山芙美子さんによる「ちいさなハチドリ」の読み聞かせでした。

これは、南アフリカ、中南米アンデス地方に伝わる民話です。落雷によって森が火事になり、小さなハチドリが小さくちばしで水を運んで消そうとします。やがて、その小さな力は周りの動物の意識を変えていきます。

小さなハチドリの「いま自分にできること」の意志を、子どもたちなりに感じ取ることができたと思います。とても心に響くお話でした。



つぎ 未来の自分からのメッセージ

学習発表会も近づき、各学年とも練習に熱を帯びてきました。練習を見てみると、たった三年間だけでしたが、自分が小学校教諭として勤めていたときの「学習発表会」が思い起こされます。最も思い出深いのは、教職二年目、6年生を担任したときのものです。

当時、勤務していた学校は、6年生は「劇」と決まっていた。初めての劇の指導に、何をやっていいかわからなかった。初めは、一人一人の個性が強い上、男女の折り合いが悪く、なかなか一つにまとめることができませんでした。

そんなとき、図書室で手にした演劇の本が、学級づくりの指針を示してくれた気がしました。

学芸会当日、劇が始まりました。同窓会で母校の教室に集まった一人一人が、恩師を前にして現在の自分を紹介していく場面。プロ野球選手や看護師、お笑い芸人など、全員が小学校時代の夢を実現させています。大盛り上がりの中、最後に本物の学級担任が登場。子どもたちは20年後から現実に引き戻されます。

その後、舞台に残った児童二人にスポットライトが照射。

「20年後、本当に夢を実現できているのかなあ。」

「できるかどうかは分からないけれど、とにかく、がんばってみようよ。」

こうして『劇中劇「同窓会ごっこ」』は幕を閉じます。

誰かを演じるのではなく、自分自身を演じる。でも、それは「今」ではなく「20年後」の自分。未来の自分の姿を思い描き、それになりきったことが、今の自分を見つめ直すきっかけとなりました。

それから10年後、彼らが22歳の同窓会の酒宴で、かつてのわんぱく小僧が発した言葉を思い出します。

「先生、世の中って、思うようにいきませんね。」

舞台で描き出した20年後を実現できているかどうかは分かりませんが、きっと46歳という年齢をたくましく生きていくに違いありません。

